

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実 施 事 業	事務事業名 国立公園内観光施設維持管理事業
----------------------	------------------------------

区分	番号	名 称						
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち						
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる						
施策	1	魅力ある観光地づくり						
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり						
主要な施策	1	地域の資源を活かした観光施設整備						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>31111001</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>昭和 4 5 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	31111001	事業開始年度	昭和 4 5 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	31111001	事業開始年度	昭和 4 5 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光施設維持管理経費
------	------	------------	------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 国立公園内にある各観光施設の安全や美化清掃を行い、観光客に快適に利用してもらう。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 地獄谷周辺の遊歩道の補修、観光施設の敷地借り上げ、カルルス温泉駐車場清掃委託等を行う。 平成22年度実績 （修 繕）天然足湯遊歩道等修繕、大正地獄展望台修繕、アルミフェンス修繕 （委 託）カルルス・サンスポーツランド業務委託 （賃 借）案内板敷地、薬師如来取付道路敷地、大湯沼駐車場敷地、大湯沼川駐車場敷地 （原材料）観光施設修繕用資材
成果	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 観光客が快適かつ安全に観光施設を利用できるようにする。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 自然公園法

指標の推移

成果指標	区 分	単 位	区 分	22年度 実 績	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標	26年度 目 標
				国立公園内事故報告件数	件	目標値	0	0
		実績値	0					
		目標値						
		実績値						

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 雑入（大湯沼駐車場敷地使用料）	千円	63	50	50	50	50	150
	一般財源	名称	千円	2,042	2,121	2,156	2,156	2,156	6,468
合 計				2,105	2,171	2,206	2,206	2,206	6,618
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	866	889			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		866	889			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 観光客に観光施設を安全にかつ快適に利用していただくため、市が実施することは妥当。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 国立公園内での事故が発生していないため。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 観光客が快適かつ安全に観光施設を利用できるようにすることが最終目的であり、国立公園内での事故発生が無い現状が最高の成果であるため、現状以上の成果はありえない。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 国立公園内であるため整備等の原材料は「木」以外では難しく、木は硫黄により腐食しやすい。そのため、毎年整備が必要であることからコスト削減は難しい。また、施設の老朽化も進んでいる。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	施設の老朽化が進んでいるため、計画的に観光施設を改修する必要がある。
-----------	----------------------	------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考	要請 b
-----------	----	------

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）